

全國に散在する吾が特殊部落民よ團結せよ。

長い間虐められて来た兄弟よ、過去半世紀間に種々なる方法と、多くの人々によつてなされた吾らの爲の運動が、何等の有難い効果を齎らさなかつた事實は、夫等のすべてが吾々によつて、又他の人々によつて毎に人間を冒瀆されてゐた罰であつたのだ。

(ながあいだいぢめられてきたきゃうだいよ、くわこはんせいきかんにしゅじゅなるはうはふと、おほくのひとびとによつてなされたわれらのためのうんどうが、なんらありがたいかうくわをもたらさなかつたじじつは、それらのすべてがわれわれによつて、またたのひとびとによつてつねににんげんをぼうどくされてゐたばちであつたのだ。)

そしてこれ等の人間を勤るかの如き運動は、かえつて多くの兄弟を墮落させた事を想へば、此際吾等の中より人間を尊敬する事によつて自ら解放せんとする者の集團運動を起せるは、寧ろ必然である。

(そしてこれらのにんげんをいたはるかのごときうんどうは、かえつておほくのきゃうだいをだらくさせたことをおもへば、このさいわれらのうちよりにんげんをそんけいすることによつてみづからかいほうせんとするもののしうだんうんどうをおこせるは、むしろひつぜんである。)

兄弟よ、吾々の祖先は自由、平等の渴迎者であり、實行者であつた。陋劣なる階級政策の犠牲者であり、男らしき産業的殉教者であつたのだ。

(きゃうだいよ、われわれのそせんはじい、べうどうのかつかうしゃであり、じつかうしゃであつた。ろうれつなるかいきふせいさくのぎせいしゃであり、をとこらしきさんげふてきじゅんけうしゃであつたのだ。)

ケモノの皮を剥ぐ報酬として、生々しき人間の皮を剥ぎ取られ、ケモノの心臓を裂く代價として、暖い人間の心臓を引裂かれ、そこへ下らない嘲笑の唾まで吐きかけられた呪はれの夜の悪夢のうちにも、なほ誇り得る人間の血は、涸れずにあつた。

(けもののかわをはぐはうしうとして、なまなましきにんげんのかわをはぎとられ、けものしんざうをさくだいかとして、あたたかいにんげんしんざうをひきさかれ、そこへくだらないうせうのつばまではきかけられたのろはれのよのあくむのうちにも、なほほこりうるにんげんのちは、かれずにあつた。)

そうだ、そして吾々は、この血を享けて人間が神にかわらうとする時代にあつたのだ。犠牲者がその烙印を投げ返す時が来たのだ。殉教者が、その荊冠を祝福される時が来たのだ。

(そうだ、そしてわれわれは、このちをうけてにんげんがかみにかわらうとするじだいにあつたのだ。ぎせいしゃがそのらくいんをなげかへすときがきたのだ。じゅんけうしゃが、そのけいくわんをしゅくふくされるときがきたのだ。)

吾々がエタである事を誇り得る時が来たのだ。

(われわれがえたであることをほこりうるときがきたのだ。)

吾々は、かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行爲によつて、祖先を辱しめ、人間を冒瀆してはならぬ。

(われわれは、かならずひくつなることばとけふだなるこういによって、そせんをはづかしめ、にんげんをぼ  
うとくしてはならぬ。)

そうして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、人間を勤る事が何んであるかをよく知つてゐる吾々は、  
心から人生の熱と光を願求禮讃するものである。

(そうしてひとのよのつめたさが、どんなにつめたいか、にんげんをいたわることがなんであるかをよくしつ  
てゐるわれわれは、こころからじんせいのねつとひかりをぐわんぐらいさんするものである。)

水平社は、かくして生れた。

(すゑへいしゃは、かくしてうまれた。)

人の世に熱あれ、人間に光りあれ。

(ひとのよにねつあれ、にんげんにひかりあれ。)

大正十一年三月三日

全國水平社創立大會